

# アタック！29

ふちんかん

昨年末、職場の忘年会の幹事になっていたのですが、11月頃からイベントを考えていた。そのときパネルクイズ・アタック25をもじったアタック！29ってのはいかがでしょうかと思いついた。

当初プログラムを組むところから考えていたのだが、すでにオンラインで便利なソフトがあったので、それを利用させてもらった。



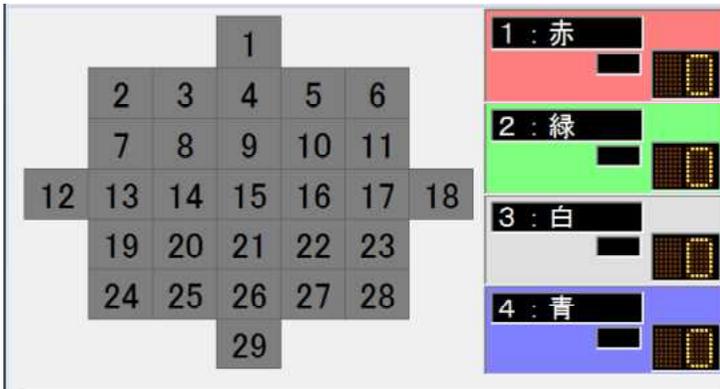
アプリケーション名 「パネルシミュレーター 3」 松岡 充浩さん作  
<http://www.hi-ho.ne.jp/matchan/psim/>



一般的な 25 枚のパネル(左上) だけでなく、エディット画面(右上)で自由なパネル枚数・配置を作ることができる。(図はすべて作者 HP より転載)



## 29もしくは肉



で、作ってみた(左)。  
アタック！29

アタック！29は、従来の25枚のパネルに比べて…

- ・斜め方向に取る割合が増える！  
従来の5×5のパネルに斜め45度方向の4×4のパネルが重なっている構造なので、今まで以上に中央のパネルの入れ替わりが激しくなる。…偶然性が増すことでターニングポイントを見極めて正答することがより求められる。
- ・角のパネル（従来の1・5、21、25）の重要性が下がる！  
もちろん絶対に他の色に変わらないという特性は変わらないのだが、同じ特性のパネルがさらに4枚加わることにより希少性が低下。また従来なら角を取ると、縦横方向の隣接パネル（従来の2・4・6・10・16・20・21・24）が、白色の場合は自動的に安泰エリアとなっていたのだが、斜めに取られる可能性が出たため、流動的になった。
- ・同時に取れる枚数が増加する！  
オセロ系ゲームの醍醐味であるパネルが一気に白色に変わるシーン、従来なら最大9枚だったのが、このパネル配置だと最大12枚変わる可能性がある。  
従来ならアタックチャンスは角を取ることが定石だったが、白色の配置によっては中央を空けることもあるかもしれない。

という変化が表れる。

まあけっきょく、忘年会は時間や諸般の事情で普通のアタック25形式で行ったのだが、この試行はけっこう面白かった。